



2015年3月期 第2四半期決算短信〔米国基準〕(連結)

2014年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 小松製作所

コード番号 6301 URL <http://www.komatsu.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大橋 徹二

問合せ先責任者 (役職名) コーポレートコミュニケーション部長 (氏名) 本多 孝一

四半期報告書提出予定日 2014年11月11日 配当支払開始予定日 2014年12月2日

TEL 03-5561-2616

2014年12月2日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家、報道機関向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 2015年3月期第2四半期の連結業績(2014年4月1日～2014年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税引前四半期純利益		当社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2015年3月期第2四半期	942,552	1.9	125,659	15.3	123,596	9.9	77,986	△1.0
2014年3月期第2四半期	925,121	△0.6	108,946	△2.1	112,461	6.7	78,810	19.2

(注)四半期包括利益 2015年3月期第2四半期 117,836百万円 (5.6%) 2014年3月期第2四半期 111,632百万円 (375.4%)

	1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益
	円 銭	円 銭
2015年3月期第2四半期	81.81	81.71
2014年3月期第2四半期	82.69	82.60

(2) 連結財政状態

	総資産	資本合計(純資産)	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
2015年3月期第2四半期	2,720,718	1,525,908	1,461,335	53.7	1,532.74
2014年3月期	2,651,556	1,441,111	1,376,391	51.9	1,443.97

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2014年3月期	—	29.00	—	29.00	58.00
2015年3月期	—	29.00	—	—	—
2015年3月期(予想)	—	—	—	29.00	58.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2015年3月期の連結業績予想(2014年4月1日～2015年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		税引前当期純利益		当社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当社株主に帰属する当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,925,000	△1.5	255,000	6.0	249,000	2.9	157,000	△1.6	164.68

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 0社 (社名) 、 除外 0社 (社名)
- (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2015年3月期2Q	983,130,260 株	2014年3月期	983,130,260 株
② 期末自己株式数	2015年3月期2Q	29,715,048 株	2014年3月期	29,933,292 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2015年3月期2Q	953,272,355 株	2014年3月期2Q	953,073,969 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

前述の将来の業績予想に関する予想、計画、見通しなどは、現在入手可能な情報に基づき当社の経営者が合理的と判断したものです。実際の業績は様々な要因の変化により、本資料の予想、計画、見通しとは大きく異なることがありうることをあらかじめご理解ください。そのような要因としては、主要市場の経済状況および製品需要の変動、為替相場の変動、および国内外の各種規制ならびに会計基準・慣行等の変更などが考えられます。

（参考）2015年3月期第2四半期（3カ月）の連結業績（2014年7月1日～2014年9月30日）

（百万円未満四捨五入）

連結経営成績（3カ月）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		税引前四半期純利益		当社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2015年3月期 第2四半期	482,331	2.6	62,181	10.0	62,249	2.3	40,303	△ 2.9
2014年3月期 第2四半期	469,962	2.0	56,533	1.8	60,872	12.4	41,519	22.2

	1株当たり 当社株主に帰属する 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当社株主に帰属する 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2015年3月期 第2四半期	42.28	42.22
2014年3月期 第2四半期	43.56	43.51

（参考）2015年3月期の個別業績予想（2014年4月1日～2015年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	760,000	0.3	152,000	△ 5.5	125,000	△ 6.6	131.04

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

前述の将来の業績に関する予想、計画、見通しなどは、現在入手可能な情報に基づき当社の経営者が合理的と判断したものです。実際の業績は様々な要因の変化により、本資料の予想、計画、見通しとは大きく異なることがあります。そのような要因としては、主要市場の経済状況および製品需要の変動、為替相場の変動、および国内外の各種規制ならびに会計基準・慣行等の変更などが考えられます。

○添付資料

目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
（1）連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
（2）連結財政状態に関する定性的情報	P. 5
（3）連結業績予想に関する定性的情報	P. 5
2. その他の情報	P. 6
（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社（特定子会社）の異動	P. 6
（2）簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用	P. 6
（3）会計処理の原則・手続、表示方法等の変更／会計方針の変更・会計上の見積りの変更	P. 6
3. 四半期連結財務諸表	P. 7
（1）四半期連結貸借対照表	P. 7
（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 9
（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 11
（4）継続企業の前提に関する注記	P. 12
（5）セグメント情報	P. 12
（6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

コマツグループは、2016年3月期をゴールとする3カ年の中期経営計画「Together We Innovate GEMBA Worldwide」を掲げ、①イノベーションによる成長戦略、②既存事業の成長戦略、③土台強化のための構造改革、を重点項目として活動しています。

2015年3月期第2四半期（2014年4月1日から2014年9月30日まで）の連結売上高は9,425億円（前年同期比1.9%増）となりました。建設機械・車両部門では、一般建設機械の需要が、北米、欧州などで堅調に推移するとともに、為替が米ドル、ユーロ、人民元に対して円安となったことが寄与し、鉱山機械の需要低迷や中国の需要減少を補い、売上は前年同期より増加しました。産業機械他部門では、自動車業界を中心とした設備投資に支えられ、板金・鍛圧機械の販売が堅調に推移したことから、売上は前年同期より増加しました。

利益につきましては、為替が円安に推移したことに加え、販売価格の改善などに継続的に注力した結果、営業利益は1,256億円（前年同期比15.3%増）、売上高営業利益率は前年同期を1.5ポイント上回る13.3%、税引前四半期純利益は1,235億円（前年同期比9.9%増）、当社株主に帰属する四半期純利益は779億円（前年同期比1.0%減）となりました。

（金額単位：百万円）

	前第2四半期 連結累計期間 [A] 1ドル = 98.0円 1ユーロ = 128.2円 1元 = 15.9円	当第2四半期 連結累計期間 [B] 1ドル = 102.6円 1ユーロ = 139.3円 1元 = 16.5円	増減率 % [(B-A)/A]
売上高	925,121	942,552	1.9
建設機械・車両	830,071	843,661	1.6
産業機械他	99,599	102,412	2.8
消去	△ 4,549	△ 3,521	-
セグメント利益	109,093	122,689	12.5
建設機械・車両	105,793	116,752	10.4
産業機械他	4,808	7,809	62.4
消去又は全社	△ 1,508	△ 1,872	-
営業利益	108,946	125,659	15.3
税引前四半期純利益	112,461	123,596	9.9
当社株主に帰属する四半期純利益	78,810	77,986	△ 1.0

※本文に記載しています売上高および利益は、すべて2014年4月から9月までの6カ月間の累計です。また、セグメント別売上高は、注記のないものはすべてセグメント間取引消去前ベースです。

部門別の概況は以下のとおりです。

【建設機械・車両】

建設機械・車両部門の売上高は8,436億円（前年同期比1.6%増）、セグメント利益は1,167億円（前年同期比10.4%増）となりました。

イノベーションによる成長戦略を担う次世代商品として、昨年世界に先駆けて市場導入した IGT ブルドーザーの商品レンジ拡大を進めるとともに、IGT 油圧ショベルについても欧州、北米、日本市場への導入に向けた準備を進めました（本年10月より欧州、日本市場への導入開始）。また、米国、欧州、日本で2014年から順次適用が開始されている新排出ガス規制（米国ではTier4 Final）に対応した商品については、北米、欧州市場にて油圧ショベル「PC490LC-11」やアーティキュレートダンプトラック「HM300-5」などを導入するとともに、それ以外の規制対応機種の開発にも継続的に取り組みました。

また、部品供給体制の強化のため、世界に18拠点ある主要な補給センタのグローバルモデルとして、新業務システムと最新の物流機器を導入した「新関東補給センタ」を栃木県の小山工場敷地内に8月に竣工し操業を開始しました。更に、今後成長が見込まれるミャンマーにおいて、アフターマーケット事業の需要を着実に取り込むため、建設機械および鉱山機械のリマン（コンポーネントの再生販売）拠点を7月に設立しました。

建設機械・車両部門の地域別売上高（外部顧客向け売上高）

（金額単位：百万円）

	前第2四半期 連結累計期間 [A]	当第2四半期 連結累計期間 [B]	増 減	
			金 額 [B-A]	増減率 % [(B-A)/A]
日本	150,071	151,709	1,638	1.1
北米	136,324	142,616	6,292	4.6
中南米	121,054	122,342	1,288	1.1
米州	257,378	264,958	7,580	2.9
欧州	57,247	74,410	17,163	30.0
CIS	35,760	27,942	△ 7,818	△ 21.9
欧州・CIS	93,007	102,352	9,345	10.0
中国	72,758	62,383	△ 10,375	△ 14.3
アジア※	91,923	103,957	12,034	13.1
オセアニア	87,177	72,595	△ 14,582	△ 16.7
アジア※・オセアニア	179,100	176,552	△ 2,548	△ 1.4
中近東	27,225	30,588	3,363	12.4
アフリカ	49,236	54,348	5,112	10.4
中近東・アフリカ	76,461	84,936	8,475	11.1
合計	828,775	842,890	14,115	1.7

※日本および中国を除く。

地域別の概況は以下のとおりです。

<日本>

建設機械のレンタル需要が一巡した影響を受けながらも、建設投資の増加や東日本大震災被災地における復興工事の需要を着実に取り込むとともに、中古車の販売が堅調だったことから、売上げは前年同期を上回りました。

<米州>

北米では、石炭を中心とする鉱山向け需要が低迷した一方、住宅建設および道路などのインフラ分野向けならびにレンタル向けに需要が増加した結果、売上げは前年同期を上回りました。

中南米では、鉱山向けの需要は引き続き低調でしたが、為替が円安に推移したことから、売上げは前年同期を上回りました。

<欧州・CIS>

欧州では、主要市場のドイツ、イギリスを中心に需要が回復した結果、売上げは前年同期を上回りました。

CISでは、金鉱山およびエネルギー向けの需要が依然低迷しており、売上げは前年同期を下回りました。

<中国>

鉄道建設などの公共工事も実施されていますが、不動産価格および石炭価格の低迷により需要は大きく減少し、売上げは前年同期を下回りました。

<アジア・オセアニア>

アジアでは、最大市場のインドネシアをはじめタイ、マレーシアなどで需要が低迷しましたが、フィリピン、ミャンマーなどで需要を取り込むことができたため、売上げは前年同期を上回りました。

オセアニアでは、鉄鉱山向け需要が依然低調に推移し、売上げは前年同期を下回りました。

<中近東・アフリカ>

中近東では、主要市場であるトルコの需要は低迷しましたが、サウジアラビア、カタール、UAEなどの湾岸諸国を中心に需要が好調に推移し、売上げは前年同期を上回りました。

アフリカでは、南アフリカを中心に鉱山機械の納入が進んだことから、売上げは前年同期を上回りました。

【産業機械他】

産業機械他部門の売上高は1,024億円（前年同期比2.8%増）、セグメント利益は78億円（前年同期比62.4%増）となりました。

稼働状況の「見える化」によりお客様の設備のランニングコスト低減に貢献するため、中国、東南アジアおよび北米などの海外市場においても、板金・鍛圧機械などの産業機械商品に機械稼働管理システム「KOMTRAX」を標準搭載し、7月より販売を開始しました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

＜財政状態＞

当第2四半期連結会計期間末は、主に米ドル、人民元などの為替が前期末に比べ円安となったことにより、総資産は前期末に比べ691億円増の2兆7,207億円となりました。有利子負債残高は前期末に比べ303億円減の5,747億円となりました。また、株主資本は前期末に比べ849億円増の1兆4,613億円となりました。これらの結果、株主資本比率は前期末に比べ1.8ポイント増の53.7%となり、ネット・デット・エクイティ・レシオ（注）は前期末の0.37に対して、0.32となりました。

（注）ネット・デット・エクイティ・レシオ（ネット負債資本比率）＝（有利子負債－現預金）／株主資本

＜キャッシュ・フロー＞

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、四半期純利益814億円に加え、受取手形及び売掛金の回収などにより、1,887億円の収入（前年同期比251億円の収入増）となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは、固定資産の購入などにより、840億円の支出（前年同期比79億円の支出増）となりました。財務活動によるキャッシュ・フローは、借入債務の返済などにより、826億円の支出（前年同期は919億円の支出）となりました。これらに為替変動の影響を加えた結果、現金及び現金同等物の当四半期末残高は前期末に比べ215億円増加し、1,123億円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

建設機械・車両部門において、鉱山機械本体の売上げが期初想定を上回っていることと、北米向けの売上げが好調であることに加え、業績予想の前提となる為替レートの見直し（下期平均の為替レートを1米ドル＝105円、1人民元＝17.0円に変更）により、本年4月25日に公表しました2015年3月期通期連結業績予想（2014年4月1日～2015年3月31日）につき、売上高および利益を修正いたします。

通期平均の為替レートは、1米ドル＝103.8円、1ユーロ＝138.2円、1人民元＝16.8円となります。（前回見通し1米ドル＝100円、1ユーロ＝137円、1人民元＝16.2円）

■2015年3月期通期連結業績予想数値の修正（2014年4月1日～2015年3月31日）

	売上高	営業利益	税引前 当期純利益	当社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり当社 株主に帰属する 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	1,880,000	243,000	237,000	154,000	161.56
今回修正予想 (B)	1,925,000	255,000	249,000	157,000	164.68
増減額 (B-A)	45,000	12,000	12,000	3,000	
増減率 (%)	2.4	4.9	5.1	1.9	
(ご参考) 前期実績 (2014年3月期)	1,953,657	240,495	242,056	159,518	167.36

（参考）個別業績予想に関する定性的情報

連結業績予想の修正と同様に、北米向けの売上げが好調であることに加え、業績予想の前提となる為替レートの見直しにより、本年4月25日に公表しました2015年3月期通期個別業績予想（2014年4月1日～2015年3月31日）につき、売上高および利益を修正いたします。

■2015年3月期通期個別業績予想数値の修正（2014年4月1日～2015年3月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	710,000	120,000	105,000	110.09
今回修正予想（B）	760,000	152,000	125,000	131.04
増減額（B－A）	50,000	32,000	20,000	
増減率（％）	7.0	26.7	19.0	
（ご参考）前期実績 （2014年3月期）	757,766	160,887	133,876	140.38

前述の将来の業績に関する予想、計画、見直しなどは、現在入手可能な情報に基づき当社の経営者が合理的と判断したものです。実際の業績は様々な要因の変化により、本資料の予想、計画、見直しとは大きく異なることがあります。そのような要因としては、主要市場の経済状況および製品需要の変動、為替相場の変動、および国内外の各種規制ならびに会計基準・慣行等の変更などが考えられます。

2. その他の情報

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社（特定子会社）の異動

該当事項はありません。

（2）簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計処理の原則・手続、表示方法等の変更／会計方針の変更・会計上の見積りの変更

①会計基準等の改正に伴う会計方針の変更

該当事項はありません。

②①以外の会計方針の変更

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

区分	前連結会計年度末 (2014年3月31日)		当第2四半期連結会計期間末 (2014年9月30日)	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)
(資産の部)				
流動資産				
現金及び現金同等物	90,872		112,376	
定期預金	277		455	
受取手形及び売掛金	617,334		573,362	
たな卸資産	625,077		653,567	
繰延税金及びその他の流動資産	159,872		169,049	
流動資産合計	1,493,432	56.3	1,508,809	55.5
長期売上債権	260,904	9.8	272,151	10.0
投資				
関連会社に対する投資及び貸付金	23,192		25,977	
投資有価証券	67,175		66,844	
その他	2,020		1,932	
投資合計	92,387	3.5	94,753	3.5
有形固定資産	667,347	25.2	702,846	25.8
営業権	36,020	1.4	36,475	1.3
その他の無形固定資産	58,532	2.2	58,437	2.2
繰延税金及びその他の資産	42,934	1.6	47,247	1.7
資産合計	2,651,556	100.0	2,720,718	100.0

区分	前連結会計年度末 (2014年3月31日)		当第2四半期連結会計期間末 (2014年9月30日)	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)
(負債の部)				
流動負債				
短期債務	176,515		144,819	
長期債務	117,485		79,451	
－1年以内期限到来分				
支払手形及び買掛金	234,231		243,414	
未払法人税等	42,211		30,060	
繰延税金及びその他の流動負債	221,789		235,870	
流動負債合計	792,231	29.9	733,614	27.0
固定負債				
長期債務	311,067		350,460	
退職給付債務	49,428		55,071	
繰延税金及びその他の負債	57,719		55,665	
固定負債合計	418,214	15.8	461,196	16.9
負債合計	1,210,445	45.7	1,194,810	43.9
(純資産の部)				
資本金	67,870		67,870	
資本剰余金	138,984		139,168	
利益剰余金				
利益準備金	39,962		40,898	
その他の剰余金	1,141,751		1,191,142	
その他の包括利益(△損失)累計額	30,035		64,163	
自己株式	△ 42,211		△ 41,906	
株主資本合計	1,376,391	51.9	1,461,335	53.7
非支配持分	64,720	2.4	64,573	2.4
純資産合計	1,441,111	54.3	1,525,908	56.1
負債及び純資産合計	2,651,556	100.0	2,720,718	100.0

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(第2四半期連結累計期間)

四半期連結損益計算書

区分	前第2四半期連結累計期間 自 2013年 4月 1日 至 2013年 9月30日		当第2四半期連結累計期間 自 2014年 4月 1日 至 2014年 9月30日	
	金額 (百万円)	百分比 (%)	金額 (百万円)	百分比 (%)
売上高	925,121	100.0	942,552	100.0
売上原価	660,541	71.4	659,069	69.9
販売費及び一般管理費	155,487	16.8	160,794	17.1
その他の営業収益 (△費用)	△ 147	△ 0.0	2,970	0.3
営業利益	108,946	11.8	125,659	13.3
その他の収益 (△費用)				
受取利息及び配当金	2,286	0.2	1,506	0.2
支払利息	△ 4,363	△ 0.5	△ 4,656	△ 0.5
その他 (純額)	5,592	0.6	1,087	0.1
合計	3,515	0.4	△ 2,063	△ 0.2
税引前四半期純利益	112,461	12.2	123,596	13.1
法人税等	30,120	3.3	44,011	4.7
持分法投資損益調整前四半期純利益	82,341	8.9	79,585	8.4
持分法投資損益	944	0.1	1,868	0.2
四半期純利益	83,285	9.0	81,453	8.6
控除：非支配持分に帰属する四半期純利益	4,475	0.5	3,467	0.4
当社株主に帰属する四半期純利益	78,810	8.5	77,986	8.3
1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益				
基本的	82.69 円		81.81 円	
希薄化後	82.60 円		81.71 円	

四半期連結包括利益計算書

区分	前第2四半期連結累計期間 自 2013年 4月 1日 至 2013年 9月30日	当第2四半期連結累計期間 自 2014年 4月 1日 至 2014年 9月30日
	金額 (百万円)	金額 (百万円)
四半期純利益	83,285	81,453
その他の包括利益 (△損失) - 税控除後		
外貨換算調整勘定	23,268	39,397
未実現有価証券評価損益	3,793	658
年金債務調整勘定	502	△ 2,599
未実現デリバティブ評価損益	784	△ 1,073
合計	28,347	36,383
四半期包括利益 (△損失)	111,632	117,836
控除：非支配持分に帰属する四半期包括利益 (△損失)	4,318	5,722
当社株主に帰属する四半期包括利益 (△損失)	107,314	112,114

(第2四半期連結会計期間)

四半期連結損益計算書

区分	前第2四半期連結会計期間 自 2013年 7月 1日 至 2013年 9月30日		当第2四半期連結会計期間 自 2014年 7月 1日 至 2014年 9月30日	
	金額 (百万円)	百分比 (%)	金額 (百万円)	百分比 (%)
売上高	469,962	100.0	482,331	100.0
売上原価	335,175	71.3	337,116	69.9
販売費及び一般管理費	78,240	16.6	82,294	17.1
その他の営業収益 (△費用)	△ 14	△ 0.0	△ 740	△ 0.2
営業利益	56,533	12.0	62,181	12.9
その他の収益 (△費用)				
受取利息及び配当金	884	0.2	628	0.1
支払利息	△ 2,116	△ 0.5	△ 2,419	△ 0.5
その他 (純額)	5,571	1.2	1,859	0.4
合計	4,339	0.9	68	0.0
税引前四半期純利益	60,872	13.0	62,249	12.9
法人税等	17,576	3.7	21,524	4.5
持分法投資損益調整前四半期純利益	43,296	9.2	40,725	8.4
持分法投資損益	653	0.1	1,181	0.2
四半期純利益	43,949	9.4	41,906	8.7
控除：非支配持分に帰属する四半期純利益	2,430	0.5	1,603	0.3
当社株主に帰属する四半期純利益	41,519	8.8	40,303	8.4
1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益				
基本的	43.56 円		42.28 円	
希薄化後	43.51 円		42.22 円	

四半期連結包括利益計算書

区分	前第2四半期連結会計期間 自 2013年 7月 1日 至 2013年 9月30日	当第2四半期連結会計期間 自 2014年 7月 1日 至 2014年 9月30日
	金額 (百万円)	金額 (百万円)
四半期純利益	43,949	41,906
その他の包括利益 (△損失) - 税控除後		
外貨換算調整勘定	△ 5,377	51,309
未実現有価証券評価損益	2,122	△ 707
年金債務調整勘定	207	346
未実現デリバティブ評価損益	△ 103	△ 1,421
合計	△ 3,151	49,527
四半期包括利益 (△損失)	40,798	91,433
控除：非支配持分に帰属する四半期包括利益 (△損失)	2,131	4,541
当社株主に帰属する四半期包括利益 (△損失)	38,667	86,892

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

区分	前第2四半期 連結累計期間 自 2013年 4月 1日 至 2013年 9月30日	当第2四半期 連結累計期間 自 2014年 4月 1日 至 2014年 9月30日
	金額 (百万円)	金額 (百万円)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
四半期純利益	83,285	81,453
四半期純利益から営業活動による現金及び現金同等物の増減(純額)への調整		
減価償却費等	43,231	47,921
法人税等繰延分	1,376	1,890
投資有価証券売却損益及び減損	△ 1,498	△ 861
有形固定資産売却損益	△ 1,346	△ 3,785
固定資産廃却損	1,858	1,697
未払退職金及び退職給付債務の増減	1,397	1,755
資産及び負債の増減		
受取手形及び売掛金の増減	73,959	63,529
たな卸資産の増減	△ 32,488	△ 6,649
支払手形及び買掛金の増減	6,829	7,868
未払法人税等の増減	△ 8,153	△ 12,056
その他(純額)	△ 4,794	6,011
営業活動による現金及び現金同等物の増減(純額)	163,656	188,773
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の購入	△ 85,134	△ 93,957
固定資産の売却	9,311	11,313
売却可能投資有価証券等の売却	4,203	1,705
売却可能投資有価証券等の購入	△ 33	△ 2
子会社及び持分法適用会社株式等の取得(現金取得額との純額)	△ 4,539	△ 3,081
貸付金の回収	201	113
貸付金の貸付	△ 16	△ 2
定期預金の増減(純額)	△ 147	△ 162
投資活動による現金及び現金同等物の増減(純額)	△ 76,154	△ 84,073
財務活動によるキャッシュ・フロー		
満期日が3カ月超の借入債務による調達	83,745	132,526
満期日が3カ月超の借入債務の返済	△ 111,077	△ 152,712
満期日が3カ月以内の借入債務の増減(純額)	△ 34,894	△ 24,611
キャピタルリース債務の減少	△ 1,849	△ 3,187
自己株式の売却及び取得(純額)	△ 16	275
配当金支払	△ 22,880	△ 27,659
その他(純額)	△ 5,011	△ 7,282
財務活動による現金及び現金同等物の増減(純額)	△ 91,982	△ 82,650
為替変動による現金及び現金同等物への影響額	2,535	△ 546
現金及び現金同等物純増減額	△ 1,945	21,504
現金及び現金同等物期首残高	93,620	90,872
現金及び現金同等物四半期末残高	91,675	112,376

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間（自 2013年4月1日 至 2013年9月30日）

（金額単位：百万円）

	建設機械 ・車両	産業機械他	計	消去又は 全社	連結
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	828,775	96,346	925,121	—	925,121
(2) セグメント間の内部売上高	1,296	3,253	4,549	△ 4,549	—
計	830,071	99,599	929,670	△ 4,549	925,121
セグメント利益	105,793	4,808	110,601	△ 1,508	109,093

当第2四半期連結累計期間（自 2014年4月1日 至 2014年9月30日）

（金額単位：百万円）

	建設機械 ・車両	産業機械他	計	消去又は 全社	連結
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	842,890	99,662	942,552	—	942,552
(2) セグメント間の内部売上高	771	2,750	3,521	△ 3,521	—
計	843,661	102,412	946,073	△ 3,521	942,552
セグメント利益	116,752	7,809	124,561	△ 1,872	122,689

前第2四半期連結会計期間（自 2013年7月1日 至 2013年9月30日）

（金額単位：百万円）

	建設機械 ・車両	産業機械他	計	消去又は 全社	連結
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	412,870	57,092	469,962	—	469,962
(2) セグメント間の内部売上高	564	2,129	2,693	△ 2,693	—
計	413,434	59,221	472,655	△ 2,693	469,962
セグメント利益	53,182	3,985	57,167	△ 620	56,547

当第2四半期連結会計期間（自 2014年7月1日 至 2014年9月30日）

（金額単位：百万円）

	建設機械 ・車両	産業機械他	計	消去又は 全社	連結
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	424,733	57,598	482,331	—	482,331
(2) セグメント間の内部売上高	413	1,475	1,888	△ 1,888	—
計	425,146	59,073	484,219	△ 1,888	482,331
セグメント利益	58,800	4,656	63,456	△ 535	62,921

(注) 1. 事業の種類別セグメントに含まれる主要製品・事業内容は、次のとおりです。

- a. 建設機械・車両セグメント
掘削機械、積込機械、整地・路盤用機械、運搬機械、林業機械、地下建設機械、資源リサイクル機械、産業車両、その他機械、エンジン、機器、鋳造品、物流関連
- b. 産業機械他セグメント
鍛圧機械、板金機械、工作機械、防衛関連、温度制御機器、その他

2. セグメント間の取引は、独立企業間価格で行われています。

【地域別情報】

前第2四半期連結累計期間（自 2013年4月1日 至 2013年9月30日）及び当第2四半期連結累計期間（自 2014年4月1日 至 2014年9月30日）の地域別外部顧客に対する売上高は次のとおりです。

（金額単位：百万円）

	日本	米州	欧州・CIS	中国	アジア※・オセアニア	中近東・アフリカ	連結
前第2四半期連結累計期間	193,608	272,858	96,179	87,722	198,278	76,476	925,121
当第2四半期連結累計期間	196,042	290,570	107,016	69,954	194,015	84,955	942,552

前第2四半期連結会計期間（自 2013年7月1日 至 2013年9月30日）及び当第2四半期連結会計期間（自 2014年7月1日 至 2014年9月30日）の地域別外部顧客に対する売上高は次のとおりです。

（金額単位：百万円）

	日本	米州	欧州・CIS	中国	アジア※・オセアニア	中近東・アフリカ	連結
前第2四半期連結会計期間	113,574	140,959	44,692	39,966	92,854	37,917	469,962
当第2四半期連結会計期間	115,461	153,137	50,227	31,009	92,594	39,903	482,331

※ 日本及び中国を除く。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。